

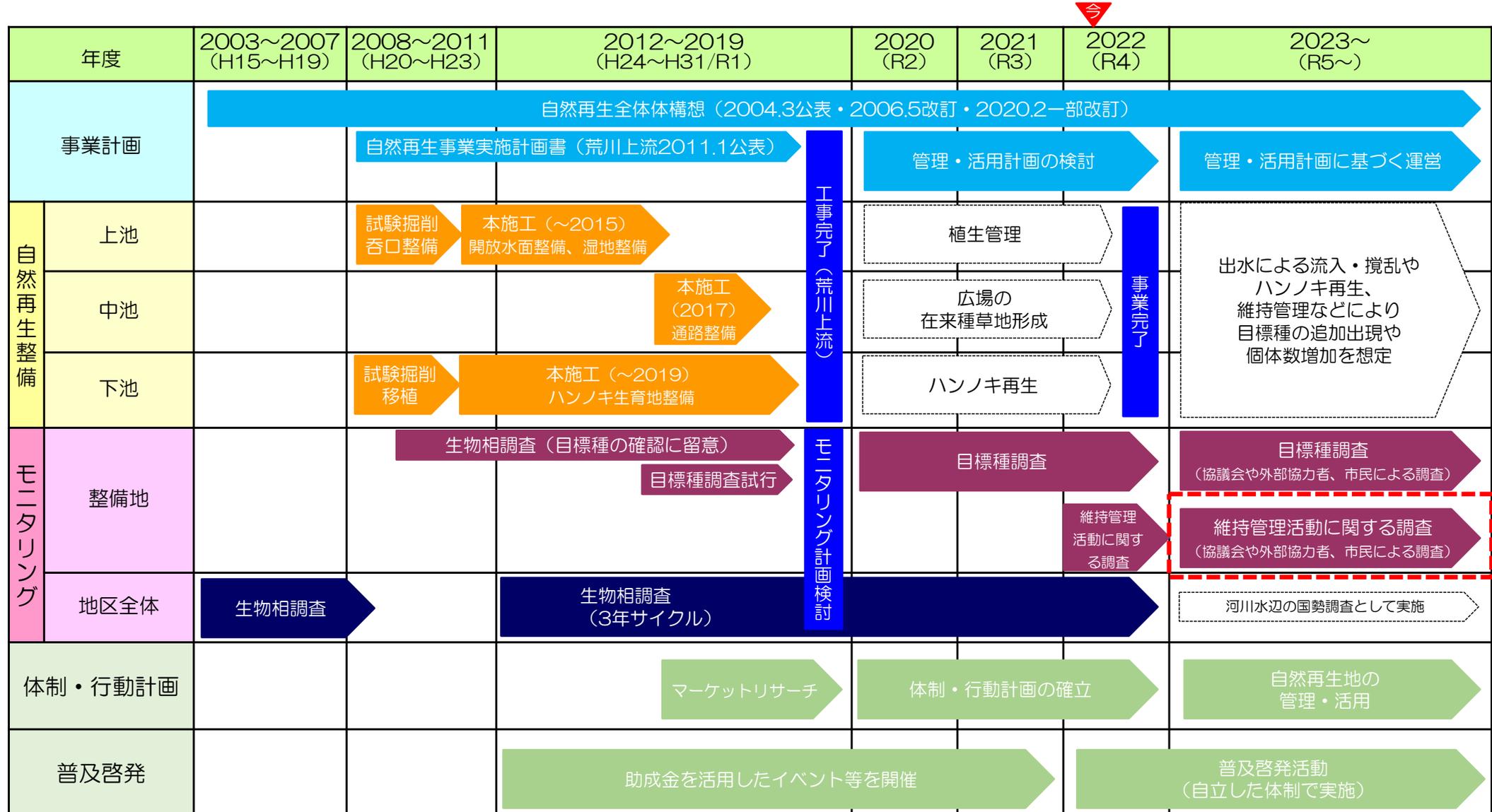
維持管理活動の検証とモニタリング方針（案）について

【目次】

- | | |
|---|----|
| 1. 荒川太郎右衛門地区自然再生事業ロードマップの一部見直し・・・・・・・・・・・・・・・・ | P2 |
| 2. 2023年以降のモニタリング調査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | P3 |

1. 荒川太郎右衛門地区自然再生事業ロードマップの一部見直し

- 事業完了後の2023年度以降のモニタリングは、『整備地』では協議会や外部協力者・市民による調査（目標種調査）を、『地区全体』では河川水辺の国勢調査として実施することを基本としています。
- 『整備地』で実施している維持管理活動（植物の移植や外来植物の除草など）についても検証が必要なため、これらを組み込んだモニタリング調査を検討する必要があります（赤枠）。



2. 2023年以降のモニタリング調査について

- 2023年以降のモニタリング調査については、維持管理作業にモニタリング調査を盛り込むこと等を検討しました。その上で、整備地及び自然再生地全体に必要な調査及び実施主体について整理しました。
- モニタリングの実施内容（調査項目）と実施体制（実施者）及び実施者の「市民による調査」の実施方法については重要種情報も含まれるため取り扱いについても協議をお願いします。

対象	調査内容	調査項目	実施者	備考
整備地	目標種調査	オオタカ・コウノトリ	協議会や外部協力者、市民による調査	
		エキサイゼリ	協議会や外部協力者、市民による調査	
		ミドリシジミ	協議会や外部協力者、市民による調査	
	維持管理活動に関する調査	サクラソウ及びサクラソウ群落再生地に移植した荒川の草花	協議会や外部協力者、市民による調査	
		チガヤ	協議会や外部協力者、市民による調査	
		オギ	協議会や外部協力者、市民による調査	
		オオカワヂシャ	協議会や外部協力者、市民による調査	
		ハンノキ	協議会や外部協力者、市民による調査	
	地区全体	生物相調査	植物	河川水辺の国勢調査（国）、外部協力者
鳥類			河川水辺の国勢調査（国）、外部協力者	※2
両生類・爬虫類・哺乳類			河川水辺の国勢調査（国）、外部協力者	
陸上昆虫			河川水辺の国勢調査（国）、外部協力者	
魚類・底生動物			外部協力者	太郎右衛門自然再生地に河川水辺の国勢調査の調査地点はない
場の調査		地下水位・水質、地形、航空写真	河川管理者	

※1 河川水辺の国勢調査の調査レベルでは、整備地ごとの詳細な植生図は作成することが出来ません。場の状況を把握できるレベルの植生図を作成するためには、毎年1回～出水によるかく乱に応じて、必要最低限として管理の前・後の2回が考えられます。

※2 河川水辺の国勢調査では、自然再生地の一部かつ10年ごとにしかデータが得られないため、補完する調査が必要です。